

構造図リストー1 マニユアル

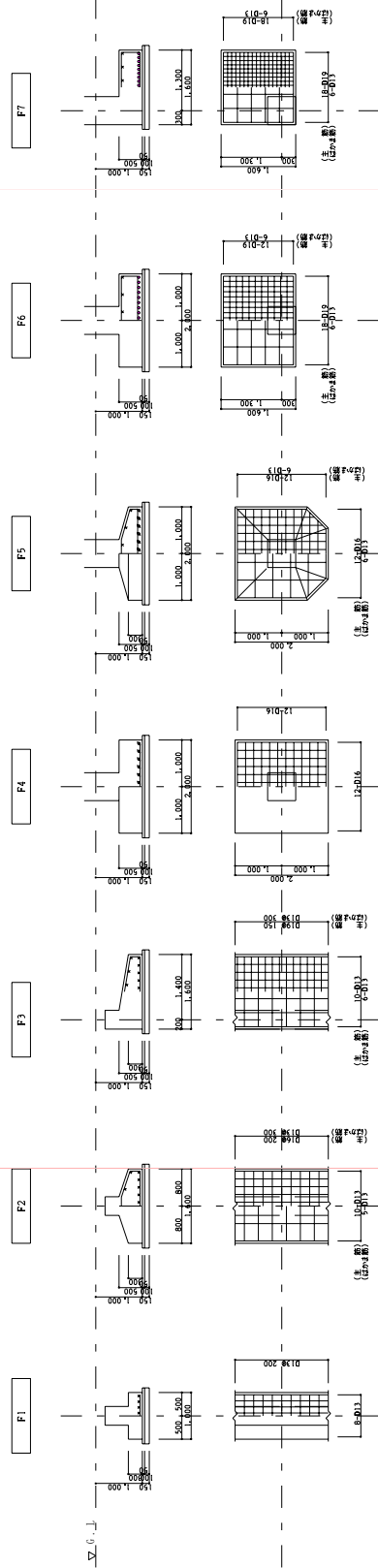
岡本建築構造設計事務所

作 図 例	1 ~ 2
基礎リストの作図	3 ~ 7
壁リストの作図	8 ~ 10
床版リストの作図	11 ~ 13

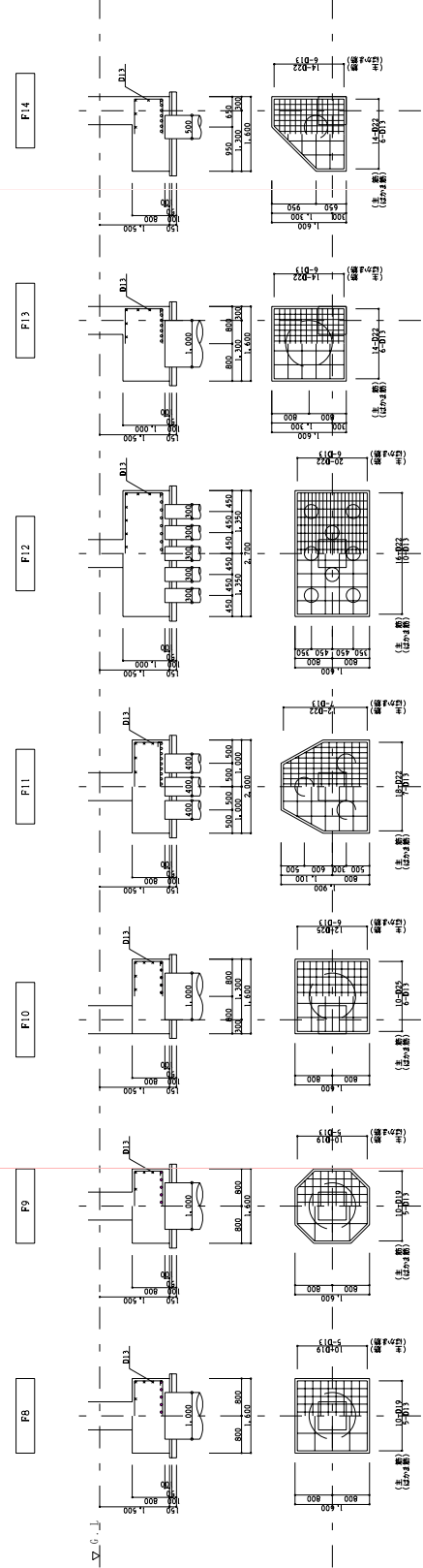
基礎リスト作図例

独立基礎

布基礎



杭基礎

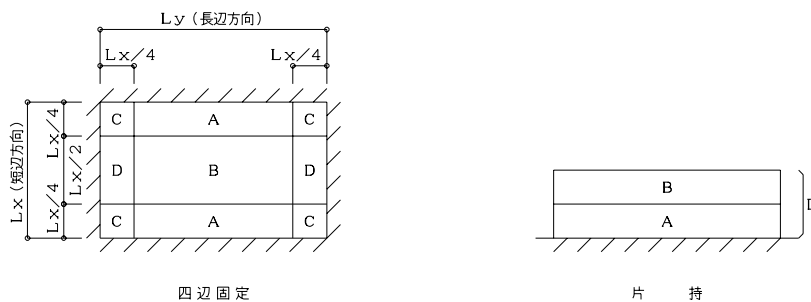


壁リスト作図例

壁 リ ス ト 1:50		注) 特記無き限り S:シングル配筋 D:ダブル配筋 千鳥D:千鳥配筋				
記 号	W15	EW18	EW20	EW20A	CB15	
壁 厚	150	180	200	200	150	
縦断面						
縦 筋	D10 @150S	D10 @200D	D10D13 @200千鳥D	D13 @200D	D10 @300S	
横 筋	D10 @150S	D10 @200D	D10D13 @200千鳥D	D13 @200D	D10 @400S	
巾止筋	—	D10@1000	D10@1000	D10@1000	—	
開口部 補強筋	縦 筋	2-D13	2-D13	2-D16	2-D19	1-D13
	横 筋	2-D13	2-D13	2-D16	2-D19	1-D13
	斜 筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	—

床版リスト作図例

床 版 リ ス ト									
記号	版厚	位置	短 辺 方 向			長 辺 方 向			備 考
			A	B	C、D	D	B	A、C	
S1	130	上筋	D10D13 @200	同 左	同 左	D10D13 @200	同 左	同 左	四辺固定
		下筋	D10D13 @200	同 左	同 左	D10D13 @200	同 左	同 左	
S2	130	上筋	D13 @200	—	D13 @250	D10D13 @200	—	D10D13 @250	四辺固定
		下筋	D13 @400	D13 @200	D13 @250	D10 @400	D10D13 @200	D10D13 @250	
CS1	180	上筋	D13 @150	同 左	同 左	D10 @200	同 左	同 左	片 持
		下筋	D13 @150	同 左	同 左	D10 @200	同 左	同 左	
FS1	250	上筋	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D13D16 @200	D13D16 @200	D13D16 @200	四辺固定
		下筋	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D13D16 @200	D13D16 @200	D13D16 @200	





基礎リストの作図

概要

布基礎・独立基礎・杭基礎を作図します。

ダイアログ

- ① 作図する基礎タイプを選択します。
- ② 最初の作図開始時のみ、GL・タイトル枠を作図するためリスト枠作図ボタンをクリックします。すると下のリスト枠作図ダイアログが表示されます。
- ③ リスト内容を、躯体寸法・鉄筋量・杭配置ごとにシートを選択して入力します。必要があれば、レイヤー・カラー等の属性を変更します。
- ④ リスト内容作図ボタンにて、基礎リストを作図します。

リスト枠作図ダイアログ

- ⑤ リスト間隔、基準線間隔、作図するリスト個数を設定します。
- ⑥ リスト枠の作図ボタンをクリックし作図を行います。
出力されるG位置の補助円が、以後のリスト入力の入力基準点となります

躯体形状

ダイアログへの入力と作図の関係は、下記のとおりです。

(布基礎の場合)

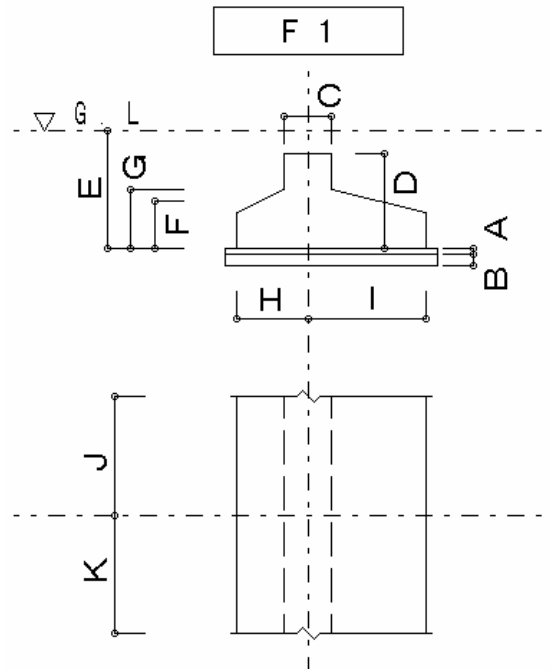
基礎リストの作図

布基礎 独立基礎 杭基礎

基礎記号 リスト 枠作図

躯体	鉄筋	杭	属性(1)	属性(2)
(A) 捨コン	50	梁(BxD)	400	800
(B) 砂利	100	基礎底	1000	
		(成)先端、元端	300	500
		(横幅) 左 右	600	1000
		(縦幅) 上 下	1000	1000

ヘルプ キャンセル リスト内容作図



(独立基礎・杭基礎の場合)

基礎リストの作図

布基礎 独立基礎 杭基礎

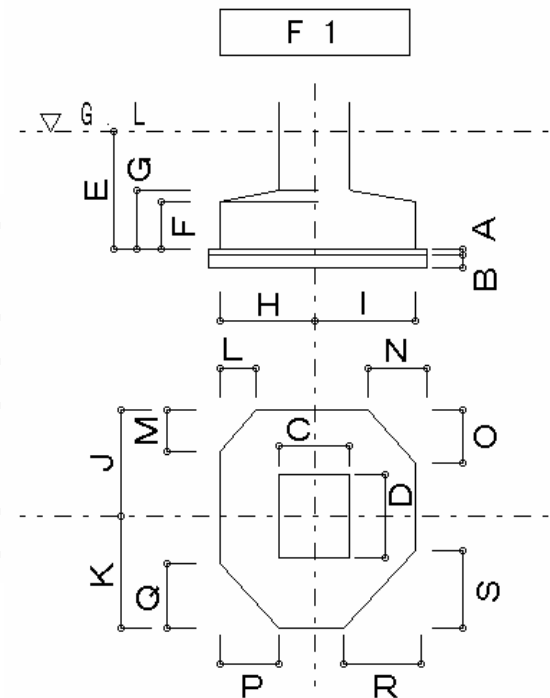
基礎記号 リスト 枠作図

躯体	鉄筋	杭	属性(1)	属性(2)
(A) 捨コン	50	柱(BxD)	600	700
(B) 砂利	100	基礎底	1000	
		(成)先端、元端	400	500
		(横幅) 左 右	800	850
		(縦幅) 上 下	900	950

—— 隅切 ——

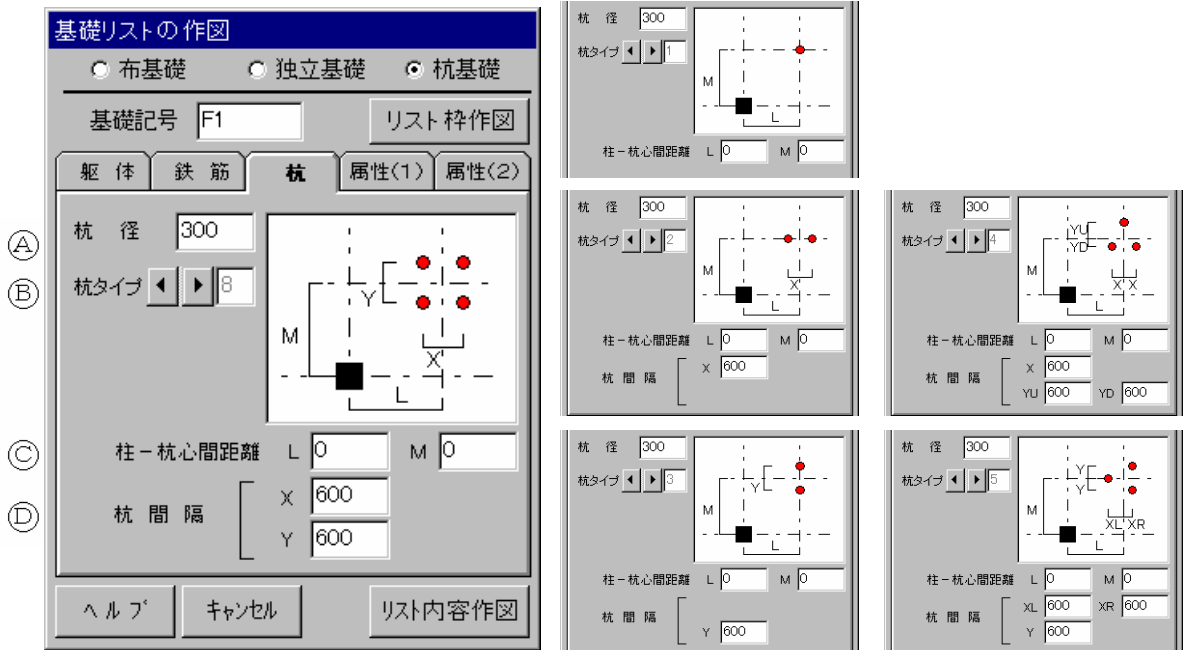
	X	Y	X	Y
(L)(M) 左上	300	350	400	450
(P)(Q) 左下	500	550	600	650

ヘルプ キャンセル リスト内容作図



杭本数・配置

ダイアログへの入力と作図の関係は、下記のとおりです。



- Ⓐ
- Ⓑ
- Ⓒ
- Ⓓ

- Ⓐ 杭径を入力します。
- Ⓑ 杭タイプを選択します。杭タイプは、下図の16種類を設定できます。
- Ⓒ 柱芯から、杭芯までの偏心量を入力します。杭芯位置は、下図の黒丸位置となります。
- Ⓓ 杭間隔を入力します。杭タイプの種類により、入力内容が異なります。

(杭タイプ)

1	2	3	4	5	6
	杭芯位置				
⊕	⊕⊕ └┘	⊕ └┘	⊕ └┘ YU └┘ YD	⊕⊕ └┘ YU └┘ YD	⊕⊕ └┘ YU └┘ YD
			XX	XL XR	XX
7	8	9	10	11	12
⊕⊕ └┘ YU └┘ YD XL XR	⊕⊕ └┘ YU └┘ YD	⊕⊕ └┘ YU └┘ YD	⊕⊕ └┘ YU └┘ YD	⊕⊕ └┘ YU └┘ YD	⊕⊕ └┘ YU └┘ YD XXXX
13	14	15	16		
⊕⊕ └┘ YU └┘ YD XL XR	⊕⊕ └┘ YU └┘ YD XXXX	⊕⊕ └┘ YU └┘ YD	⊕⊕ └┘ YU └┘ YD XL XR		

属性 (1)、(2)

リストに共通な寸法値・レイヤー・カラーを設定します。

基礎リストの作図

布基礎 独立基礎 杭基礎

基礎記号

躯体 鉄筋 杭 **属性(1)** 属性(2)

寸法線

(A) 柱端-GL間距離 250	(H) 縦断面空き 250
(B) 地業の出寸法 100	(I) 縦断面長さ 500
(C) 杭埋込寸法 100	(J) 他 空き 200
(D) 杭の出寸法 500	(K) 他 長さ 500
(E) 鉄筋かぶり 50	(L) 間 隔 200
(F) 鉄筋寸法 50	(M) 丸止め直径 25
(G) 初期値に戻す 初期値	(N) 数値浮き 20

ヘルプ キャンセル リスト内容作図

基礎リストの作図

布基礎 独立基礎 杭基礎

基礎記号

躯体 鉄筋 杭 属性(1) **属性(2)**

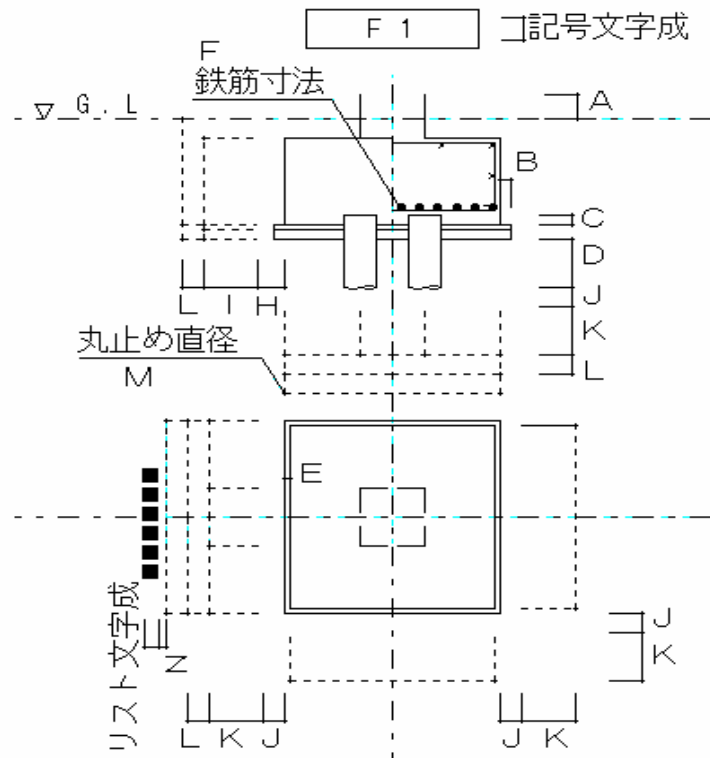
レイヤー カラー

基準線 111: <input type="text" value="111"/>	6: <input type="text" value="6"/>
躯体 112: <input type="text" value="112"/>	4: <input type="text" value="4"/>
鉄筋 113: <input type="text" value="113"/>	3: <input type="text" value="3"/>
寸法線 114: <input type="text" value="114"/>	5: <input type="text" value="5"/>
補助線 200: <input type="text" value="200"/>	2: <input type="text" value="2"/>

記号文字成 (幅/成) (空/成)

リスト文字成 0.75 -0.2

ヘルプ キャンセル リスト内容作図



- (G) 各データを、オプションコマンドインストール時の値に戻します。
初期値は、縮尺 1 : 50 を想定しています。
 - (O) 各図形のレイヤー、カラーを設定します。
 - (P) 文字幅、文字の空きは、文字成に対する比で入力します。
- 注) 使用するフォントの種類は、現在設定されているものになります。



壁リストの作図

概要

壁リストを作図します。

ダイアログ

- ① 最初の作図開始時のみ、タイトル枠を作図するためリスト枠作図ボタンをクリックします。すると下のリスト枠作図ダイアログが表示されます。
- ② リスト内容を入力してゆきます。
必要があれば、レイヤー・カラー等の属性を変更します。
- ③ リスト内容作図ボタンにて、壁リストを作図します。

リスト枠作図ダイアログ

- ④ リスト間隔、枠間隔、作図するリスト個数を設定します。
- ⑤ リスト枠作図ボタンをクリックし、作図を行います。
出力される F 位置の補助円が、以後のリスト入力の入力基準点となります

リスト内容

ダイアログへの入力と作図の関係は、下記のとおりです。

オプションコマンド

リスト作図 属性 1 属性 2

記号 壁厚
W18 180 リスト枠作図

壁タイプ
 RC壁 ブロック
 シングル
 ダブル
 千鳥D

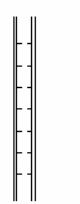
配筋方法
 縦筋外 横筋外
 千鳥D

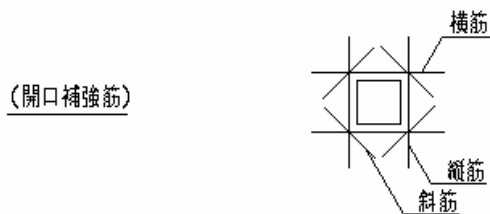
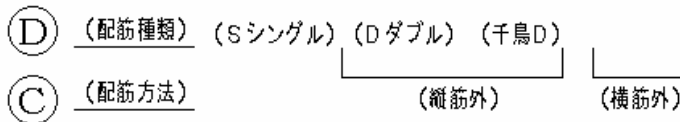
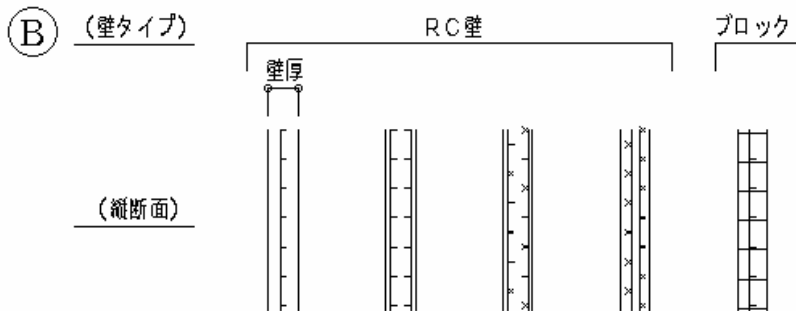
壁筋
 縦筋 D10 @ 200
 横筋 D10 @ 200
 巾止筋 D10 @ 1000

開口補強筋
 縦筋 2 - D13
 横筋 2 - D13
 斜筋 2 - D13

ヘルプ キャンセル リスト内容作図

壁 リ ス ト 1 : 5 0

記号	W 1 8	(A)
壁 厚	200	(A)
縦 断 面		(D)
縦 筋	D 1 0 @ 2 0 0 D	(E)
横 筋	D 1 0 @ 2 0 0 D	(F)
巾 止 筋	D 1 0 @ 1 0 0 0	(G)
開口部 補強筋	縦 筋	2 - D 1 3 (H)
	横 筋	2 - D 1 3 (I)
	斜 筋	2 - D 1 3 (J)

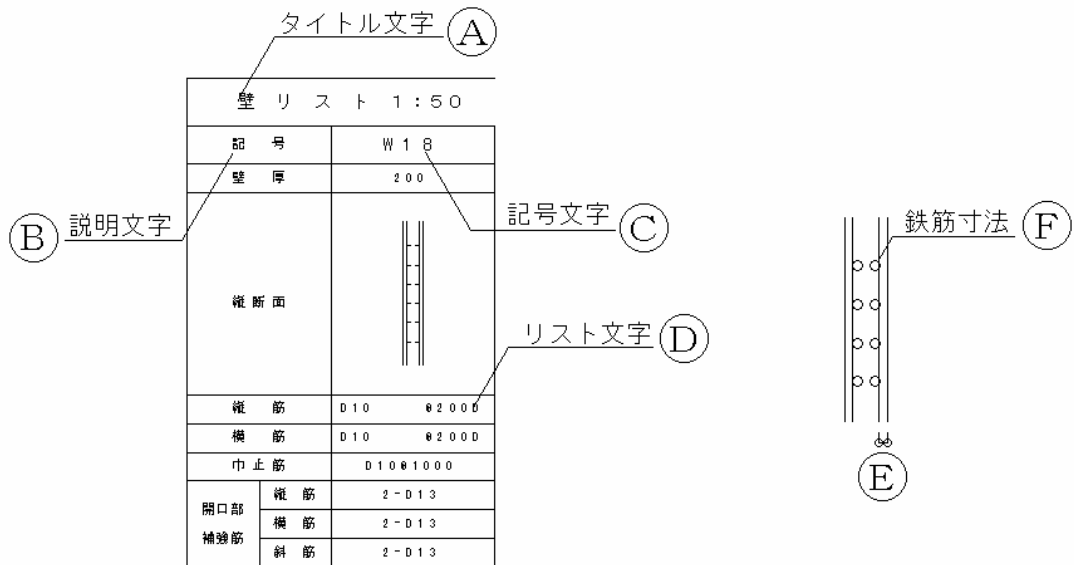
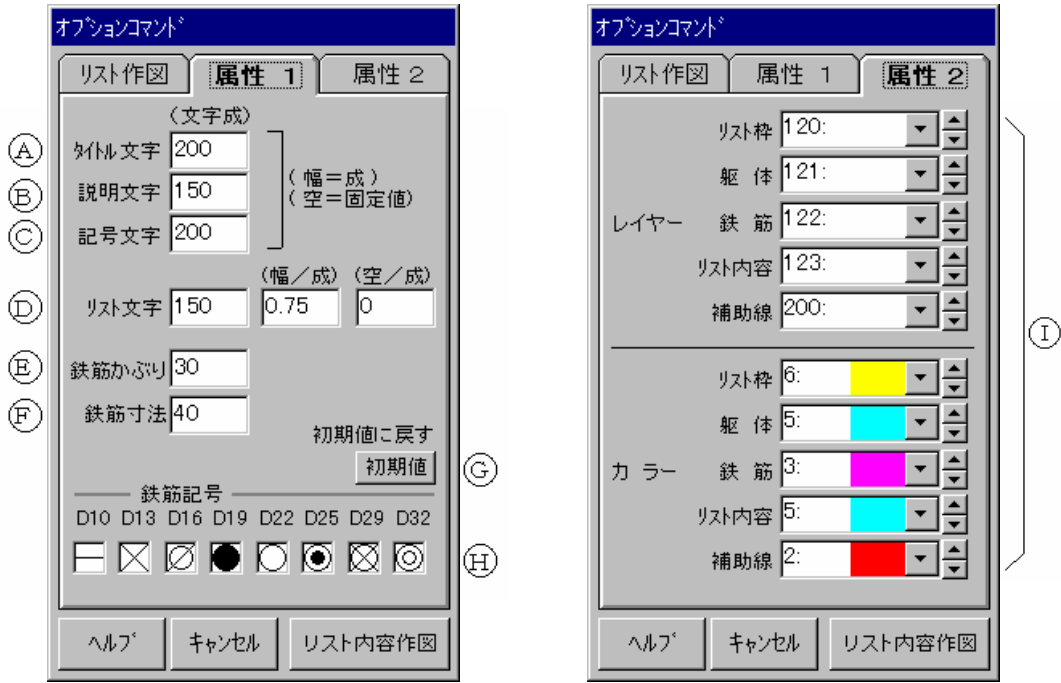


鉄筋径・ピッチ部分コンボボックス内で直接文字を入力することもできます。

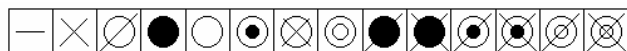
例) 鉄筋径部分で、「10φ」、ピッチ部分で「@175」と入力して作図すると、「10φ @175」と作図されます。

属性 (1)、(2)

リストに共通な寸法値・レイヤー・カラーを設定します



- ①-③ タイトル文字、説明文字、記号文字は、幅=成、文字空き=固定値です。
- ④ リスト文字の文字幅、文字空きは、文字成に対する比で入力します。
注) 使用するフォントの種類は、現在設定されているものになります。
- ⑤ 各データを、オプションコマンドインストール時の値に戻します。
初期値は、縮尺 1 : 5 0 を想定しています。
- ⑥ 鉄筋径と作図記号の関係を示します。記号をクリックすると、次の順で記号を変更することができます。



- ⑦ 各図形のレイヤー、カラーを設定します。



床版リストの作図

概要

床版リストを作図します。

ダイアログ

- ① 最初の作図開始時のみ、タイトル枠を作図するためリスト枠作図ボタンをクリックします。すると下のリスト枠作図ダイアログが表示されます。
- ② リスト内容を入力してゆきます。入力部分が緑色に表示されます。緑色表示されているテキストボックスが作図の対象となります。必要があれば、レイヤー・カラー等の属性を変更します。
- ③ リスト内容作図ボタンにて、床版リストを作図します。

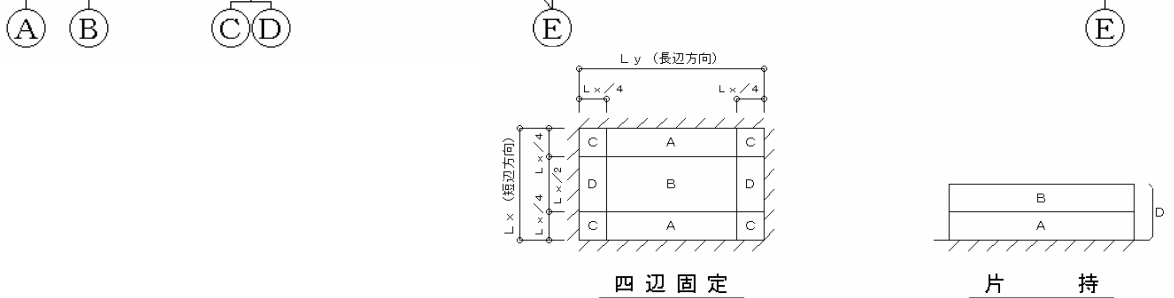
リスト枠作図ダイアログ

- ④ リスト間隔、枠間隔、作図するリスト個数を設定します。
- ⑤ リスト枠作図ボタンをクリックし作図を行います。リスト枠作図の後に、説明図が作図されます。出力される枠内の補助円が、以後のリスト入力の入力基準点となります。

リスト内容

ダイアログへの入力と作図の関係は、下記の通りです。

床 版 リ ス ト										
記号	版厚	位置	短 辺 方 向			長 辺 方 向			備 考	
			A	B	C、D	D	B	A、C		
S 1	150	上筋	D10D13 @200	—	D10D13 @250	D10D13 @200	—	D10D13 @250	四 辺 固 定	
		下筋	D10D13 @200	D10D13 @200	D10D13 @250	D10D13 @200	D10D13 @200	D10D13 @250		
S 2	150	上筋								
		下筋								
c S 1	180	上筋	D13 @150	同 左	同 左	D10 @200	同 左	同 左	片 持	
		下筋	D13 @150	同 左	同 左	D10 @200	同 左	同 左		



- ① テキストボックスに記号を設定した後、リスト内容作図ボタンF⑥をクリックして、記号を描いてゆきます。その時、記号末尾の文字が作図ごとに連続して変化してゆきます。 [例) S 1で入力開始 S 2, S 3.... と変化]
- ② テキストボックスに版厚を設定した後、リスト内容作図ボタンF⑥をクリックして、版厚を描いてゆきます
- ③ ~④ 描きたい鉄筋径・ピッチをクリックして選択し、リスト内容作図ボタンF⑥をクリックして配筋を描いてゆきます。鉄筋径・ピッチは、対になって作図されます。
- ⑤ 描きたい特殊文字をクリックして選択し、リスト内容作図ボタンF⑥をクリックして、文字を作図してゆきます。

鉄筋径・ピッチ・特殊文字部分コンボボックス内で直接文字を入力することもできます。
 例) 鉄筋径部分で、「10φ」、ピッチ部分で「@175」と入力して作図すると、「10φ @175」と作図されます。

属性

リストに共通な寸法値・レイヤー・カラーを設定します。

床版リストの作図

リスト内容作図

レイヤー

カラー

リスト枠 130: 6: (Yellow)

リスト内容 131: 5: (Cyan)

補助線 200: 2: (Red)

(文字成) タイトル 250 (幅=成)
説明 150 (空=固定値)

初期値に戻す 記号 200 (幅/成) (空/成)

初期値 リスト 150 0.75 0

ヘルプ キャンセル リスト内容作図

- Ⓐ 各図形のレイヤー、カラーを設定します。
- Ⓑ 各データを、オプションコマンドインストール時の値に戻します。
初期値は、縮尺 1 : 50 を想定しています。
- Ⓒ~Ⓓ タイトル文字、説明文字は、幅=成、文字空き=固定値です。
- Ⓔ~Ⓕ 記号文字、リスト文字の文字幅、文字空きは、文字成に対する比で入力します。
注) 使用するフォントの種類は、現在設定されているものになります。